

令和7年度

英語科

2年

年間指導計画・評価計画

【暗号】L=聞くこと、SI=話すこと（やりとり）、SP=話すこと（発表）、W=書くこと

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 ★評価方法
					知	思	態	
	4月	5	Unit 0 My Spring Vacation	・クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。＜◆動詞の過去形＞	○	○	○	【知】過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) 【技】過去形を用いた文の理解をもとに、春休みにしたことやその感想について、伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W) 【思】クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしている。(L・R・SI・W) 【態】クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・W) ★発表、単元テスト
		11	Unit 1 What can we experience on a trip? 題材 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。 活動 旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えたりすることができる。	・おたがいの予定を知るために、相手の予定について書かれた文章を理解したり、自分の予定を伝えたりすることができる。＜be going to＞ ・これからの予測やおたがいの意志を伝え合うために、相手がその場で判断したことを理解したり、自分の判断を即興で伝えたりすることができる。＜助動詞will＞ ・旅行の思い出を伝え合うために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉えたり、ある場所についての情報を伝える文章を書いたりすることができる。＜SV00＞ ・旅行の楽しさと海外の文化や言語について理解するために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉えることができる。＜SV0C (C=名詞)＞	○	○	○	【知】未来を表すbe going toやwillを用いた文、＜showなど十人もの＞、＜call+A+B＞の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) 【技】未来を表すbe going toやwillを用いた文、＜showなど十人もの＞、＜call+A+B＞の文の理解をもとに、これからの予定や計画、旅行の報告などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) 【思】留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W) 【態】留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(L・R・SI・SP・W) ★ペアワーク、単元テスト
		1	Real Life English 1 機内放送 □機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	・機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。＜be going to、助動詞will＞	○	○	○	【知】予定などを伝える表現の意味や働きを理解している。(L・SP) 【技】予定などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、近い未来の情報について話される内容を捉える技能を身につけている。(L・SP) 【思】旅行をより楽しむために、飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取っている。(L) 【態】旅行をより楽しむために、飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取ろうとしている。(L) ★発表(スキット)

1	Grammar for Communication 1	・ 5つの文構造の形・意味・用法を整理し、理解を確かめる。＜◆5つの文構造＞	○			【知】 5つの文構造の形・意味・用法を理解している。 【技】 動詞の種類や伝えたい内容に合わせて、適切な構造の文を使い分ける技能を身につけている。 ★自己評価シート
1 1	Unit 2 What is local food? 題材 日本や外国の料理のことを知り、食文化の歴史や変化について考える。 活動 好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。	・ どんなときに何をするかを伝え合うために、普段していることや好きな食べ物などについて伝え合うことができる。＜接続詞when＞ ・ ある条件のもとですることを伝え合うために、したいと思っていることや好きな食べ物などについて伝え合うことができる。＜接続詞if＞ ・ さまざまな料理について理解を深めたり、知っていることを伝えたりするために、料理について書かれた文章から事実や考え、理由などを読み取ったり、自分から伝えたりすることができる。＜接続詞because＞ ・ 料理や食文化の歴史や変化について理解するために、日本や外国の料理などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを話したり書いたりすることができる。＜接続詞that＞	○	○	○	【知】 接続詞when, if, because, thatを用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) 【技】 接続詞when, if, because, thatを用いた文の理解をもとに、時や条件、理由や考え・意見などを伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・SP) 【思】 ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R・SI・SP・W) 【態】 ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。(L・R・SI・SP・W) ★ペアワーク、単元テスト
1	Real Life English 2 旅行先で □場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。	・ 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。＜May I …? / Could you …?＞	○	○	○	【知】 ていねいに許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解している。(SI) 【技】 相手にしてほしいことについて、ていねいに許可を求める表現や依頼する表現を用いて、伝えたり答えたりする技能を身につけている。(SI) 【思】 旅行をより楽しむために、相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしている。(SI) 【態】 旅行をより楽しむために、相手や場面に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりしようとしている。(SI) ★発表（スキット）
1	Grammar for Communication 2	・ 接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。＜接続詞＞	○			【知】 接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 【技】 2つ以上の文の関係を考えて、適切な接続詞を使う技能を身につけている。
	Unit 3 What kind of job are you interested in? 題材 自分の将来像や夢について考える。 活動 将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。	・ おたがいのことをよりよく知るために、動作や行為について、それをする目的を理解したり伝えたりすることができる。＜不定詞（目的を表す副詞的用法）＞ ・ おたがいの感情や気持ちを知るために、うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因について理解したり伝えたりすることができる。＜不定詞（原因を表す副詞的用法）＞				【知】 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L/SI/W) 【技】 不定詞（目的を表す副詞的用法）などの理解をもとに、何かをする目的について、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R/SP/W) 【思】 さまざまな気持ちとその原因を理解するために、感情の原因について簡単な語句や文を用いて伝えあっている。(L/R/SI) 【態】 自分の考えや理由を伝え合ったり、書いたりしようとしている。(SI/W)

6月	1 2		・読み聞かせの際によりよく伝えるために、文章に込められたメッセージを理解し、聞き手のことを考えて、そのメッセージを伝える音読をすることができる。＜不定詞（形容詞的用法）＞ ・自分の将来像や夢について考えるために、大切なことやする必要があることなどについて、文章から理解したり伝えたりすることができる。＜It is …+to＞	○	○	○	★ペアワーク、単元テスト
	1	Real Life English 3 仕事についてのインタビュー □インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。	・インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。＜Thank you for …, —My pleasure.＞<◆不定詞>＜It is …+to>	○	○	○	【知】時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きを理解している。(L) 【技】時や理由、考えなどを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、仕事についてのインタビューを聞いて、その内容を伝える技能を身につけている。(L) 【思】相手のことをよりよく知るために、仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉え、自分ならどんな質問をしたいか考えている。(L・SP) 【態】相手のことをよりよく知るために、仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉え、自分ならどんな質問をしたいか考えようとしている。(L・SP) ★ペアワーク、単元テスト
	2	Learning Technology in English 技術・家庭（技術）	・ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりすることができる。＜◆不定詞>	○	○	○	【知】ロボットが活躍する社会に関する語彙を理解している。(SI) 【技】ロボットが活躍する社会に関する語彙の理解をもとに、これからの社会について考えを伝え合う技能を身につけている。(SI) 【思】ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりしている。(SI・W) 【態】ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりしようとしている。(SI・W)
	1	Grammar for Communication 3	・不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。＜不定詞＞	○			【知】不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技】不定詞を用いて、目的やしたいことなどを伝える技能を身につけている。
	5	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food □自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。	・自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。＜◆既習事項の総復習＞	○	○	○	【知】Unit 3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 【技】Unit 3までの学習事項を用いて、いちばん好きな日本食についてその特徴や好きな理由を整理し、メモにまとめて話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) 【思】自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話している。(L・R・SI・SP・W) 【態】自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話そうとしている。(L・R・SI・SP・W)
7月							

		8	Let's Read 1 History of Clocks □説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	○	○	○	【知】 時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。(R) 【技】 時間の経過を表す語句の意味や働きの理解をもとに、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを読み取る技能を身につけている。(R) 【思】 文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。(R・SI) 【態】 文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R・SI)
	8月	5	Let's Read 1 History of Clocks □説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。 ＜既習事項の総復習＞	○	○	○	【知】 時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。(R) 【技】 時間の経過を表す語句の意味や働きの理解をもとに、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを読み取る技能を身につけている。(R) 【思】 文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。(R・SI) 【態】 文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R・SI)
	9月	1 2	Unit 4 What is important in a homestay? 題材 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 活動 海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。	・海外でのホームステイをよりよいものにするために、する必要があることやないことについて理解したり伝えたりすることができる。＜have to, do not have to＞ ・海外でのホームステイをするために、しなければならないことやしてはいけないことについて理解したり伝えたりすることができる。＜助動詞 must, must not＞ ・海外でのホームステイをよりよいものにするために、ホームステイで起こる問題について書かれた文章の概要を捉えたり、アドバイスを書いたりすることができる。＜動名詞(目的語)＞ ・日本と海外の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、事実や書き手の気持ちを整理して体験談の概要を捉えたり、自分の考えを伝えたりすることができる。＜動名詞(主語)＞	○	○	○	【知】 have to、助動詞 must、動名詞の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) 【技】 have toや助動詞 must、動名詞の理解をもとに、しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) 【思】 海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W) 【態】 海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(L・R・SI・SP・W) ★ペアワーク、単元テスト
		4	Real Life English 4 ホームステイのお礼状 □お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。	・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。＜I look forward to … ◆動名詞＞	○	○	○	【知】 手紙を書くときの基本的な構成と表現を理解している。(R・W) 【技】 手紙を書くときの基本的な構成と表現を用いて、お世話になったことなどについて、感謝の気持ちを伝える手紙を書く技能を身につけている。(R・W) 【思】 ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書いている。(W) □ ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書こうとしている。(W)

2 学期

10月							★ワークシート
	1	Grammar for Communication 4	・助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。＜助動詞＞	○			〔知〕 助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技〕 助動詞を用いて、できることやしなければならぬことを伝える技能を身につけている。
	1 1	Unit 5 What design is good for everyone? 題材 だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 活動 だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えることができる。	・どのようにしたらよいかを知ったり説明したりするために、使い方や方法について、情報を捉えたり伝え合ったりすることができる。＜疑問詞＋to＞ ・どのようにしたらよいかを相手に説明するために、使い方や方法について、情報を捉えたり伝え合ったりすることができる。＜主語＋動詞＋（人）＋疑問詞＋to＞ ・だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインの意義について書かれた文章の要点を読み取ったり、自分の確信や喜びの気持ちなどを伝えたりすることができる。＜主語＋be動詞＋形容詞＋that＞ ・だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインを生み出した人物の功績について書かれた文章の概要を捉えることができる。	○	○	○	〔知〕 〈疑問詞＋to〉を用いた文や〈主語＋be動詞＋形容詞＋that〉の文の形・意味・用法を理解している。（L・R・SI・SP） 〔技〕 〈疑問詞＋to〉を用いた文や〈主語＋be動詞＋形容詞＋that〉の文の理解をもとに、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて話す技能を身につけている。（L・R・SI・SP） 〔思〕 だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。（L・R・SI・SP・W） 〔態〕 だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。（L・R・SI・SP・W） ★ペアワーク、単元テスト
	1	Real Life English 5 アナウンス・案内 □展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。	・展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。＜Why don't you …?＞	○	○	○	〔知〕 イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解している。（L） 〔技〕 イベントの情報などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに、アナウンスやスタッフの案内の内容を聞き取る技能を身につけている。（L） 〔思〕 行きたいイベントとその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスやスタッフの案内を聞いて、必要な情報を聞き取っている。（L・SI） 〔態〕 行きたいイベントとその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスやスタッフの案内を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。（L・SI） ★発表（スキット）
	2	Learning Social Studies in English <u>社会</u>	・持続可能な社会について考えるために、SDGsの目標について理解し、取り組んでいきたいことを考えることができる。	○	○	○	〔知〕 SDGsに関する語彙を理解している。（R） 〔技〕 SDGsに関する語彙の理解をもとに、SDGsの目標について読み取る技能を身につけている。（R） 〔思〕 持続可能な社会について考えるために、SDGsの目標について理解し、取り組んでいきたいことを整理して話している。（R・SI・SP） 〔態〕 持続可能な社会について考えるために、SDGsの目標について理解し、取り組んでいきたいことを整理して話そうとしている。（R・SI・SP）

1 1 月	1 1	Unit 6 How can we make a good presentation? 題材身近なトピックを通して、調査や発表の効果的な方法について考える。 活動 身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。	・身近なものをよりよく知るために、複数のものを比べた結果から事実を理解したり伝えたりすることができる。<比較表現 (…er, the …est) > ・身近なものをよりよく知るために、複数のものを比べた結果から事実や感想などを理解したり伝えたりすることができる。<比較表現 (more …, the most …) > ・調査の結果について理解したり伝え合ったりするために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、調査の結果について感想を述べたりすることができる。<比較表現 (better, best) > ・調査や発表の効果的な方法について考えるために、発表の内容について評価する文章の概要を捉えたり、アドバイスをしたりすることができる。<比較表現 (as … as …) >	○	○	○	[知] 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技] 比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思] 聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(L・R・SI・SP・W) [態] 聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(L・R・SI・SP・W) ★ペアワーク、単元テスト
	1	これまでの復習	<比較級・最上級>			○	[態] 自分の課題を設定し、取り組もうとしている。 ★自己評価シート
	1	Real Life English 6 電車の乗りかえ □状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。	・状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。<Could you tell me how to get to …? — Take …, ◆主語+動詞+ (人) +疑問詞+to>	○	○	○	[知] 乗り物での行き方や乗りかえ方法を伝える表現の意味や働きを理解している。(SI) [技] 乗り物での行き方や乗りかえ方法を伝える表現の理解をもとに、乗り物での行き方を伝える技能を身につけている。(SI) [思] 相手が目的地に到着できるように、状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えている。(SI) [態] 相手が目的地に到着できるように、状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えようとしている。(SI) ★発表 (スキット)
	1	インタビューテスト 2	・これまで学んだ知識を用いて、ALTと即興でやりとりができる。		○		[知] [思] [態] これまで学んだ知識を用いて、ALTと即興でやりとりをしている。(SI) ★スピーキングテスト
	1	Grammar for Communication 5	・比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。<◆比較表現>	○			[知] 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技] 複数のものや人について、形や性質、気持ちなどを比較して伝える技能を身につけている。

3 学	1 2 月	6	Stage Activity 2 My School and School Life □自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。	・自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明する。＜既習事項の総復習＞	○	○	○	[知] Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技] Unit 6までの学習事項を用いて、自分の学校や学校生活について話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) [思] 自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明している。(L・R・SI・SP・W) [態] 自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明しようとしている。(L・R・SI・SP・W) ★発表 (Reading Show)
	1 月	5	Let's Read 2 A Glass of Milk □物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。＜既習事項の総復習＞	○	○	○	知 [知識] 場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。(R) [技能] 場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身につけている。(R) 思 気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。(R・SI) 態 気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取ろうとしている。(R・SI)
		1 2	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? 題材世界遺産の特徴や抱える問題について知り、私たちが取るべき行動について考える。 活動 世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。	・世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、事実を説明したりすることができる。＜受け身 (平叙文)＞ ・世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実などを整理し、対話の概要を捉えたり、相手に質問したり答えたりすることができる。＜受け身 (疑問文)＞	○	○	○	[知] 受け身の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技] 受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実を伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP) [思] 日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。(L・R・SI・SP・W) [態] 日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。(L・R・SI・SP・W)
	2 月			・世界遺産などについて理解したり伝えたりするために、事実や行為者などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、世界遺産などについて説明したりすることができる。＜受け身 (by … つき)＞ ・世界遺産の現状について知りこれからのことについて考えるために、世界遺産が抱える問題について書かれた文章の概要を捉えたり、説明したりすることができる。＜受け身 (助動詞つき)＞				★ペアワーク、単元テスト

期

3月	1	Real Life English 7 買い物 □自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。	・自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。＜◆May I …? —Yes, please. I' m looking for …＞	○	○	○	[知] 好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解している。(SI) [技] 好みや要望を伝える表現を用いて、買い物のやり取りをする技能を身につけている。(SI) [思] 買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を伝えたい。(SI) [態] 買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を伝えようとしている。(SI) ★発表 (スキット)
	1	Grammar for Communication 6	・受け身の文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。＜◆受け身＞	○			[知] 受け身の文の形・意味・用法を理解している。 [技] 身のまわりのことや人について、受け身の文を用いて、異なる視点で情報を伝える技能を身につけている。
	5	Stage Activity 3 Let' s Have a Discussion □自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。	・自分たちの町の将来について考えるために、自分の立場を明確にして、意見を述べるができる。＜◆既習事項の総復習＞	○	○	○	[知] Unit 7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技] Unit 7までの学習事項を用いて、自分の立場を明確にして、意見を述べる技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) [思] 自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合っている。(L・R・SI・SP・W) [態] 自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合おうとしている。(L・R・SI・SP・W) ★発表 (Reading Show)
	5	Let' s Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet □人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	・人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。＜◆既習事項の総復習＞	○	○	○	[知] 時系列を表す文章構成や語句を理解している。(R) [技] 時系列を表す文章構成や語句の理解をもとに、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。(R) [思] 文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。(R・SI) [態] 文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R・SI) ★スピーキングテスト
	3	1, 2年生の総復習	・これまで学んだ知識を用いて、聞いたり読んだり話したり書いたりすることができる。			○	[態] これまで学んだ知識を整頓している。(L/R/SI/W) ★ワークシート、自己評価カード

140 時間